

《第63回 青少年読書感想文全国コンクール 課題図書》

	書名	作者名	あらすじ
小学校低学年	ばあばは、だいじょうぶ	楠 章子 // 作 いしい つとむ // 絵	逆上がりができなくても、計算問題が解けなくても、ばあばは「つばさは、だいじょうぶだよ」って言うくれる。そんなばあばが、「わすれてしまう」病気になるってしまい…。
	なにがあってもずっといっしょ	くさの たき // 作	オレはサスケ。サチコさんの家の庭に住んでいる。ある日、サチコさんが帰ってこない。いつも家の庭に来るネコが「サチコさんを信じて待てばいいじゃないか」と言い…。
	アランの歯はでっかいぞ こわーいぞ	ジャーヴィス // 作	ジャングルのみんなはアランをこわがるけど、それはアランの努力のたまもの。うろこを磨き、爪をとがらせ、歯を1本につき、最低10分磨く。でもアランの歯は…。
	すばこ	キム ファン // 文 イ スンウオン // 絵	森の木々がへっているなか、小鳥たちのいのちを守り、人々に楽しみを与えてくれる「すばこ」。もともとはドイツのある小鳥好きの男爵がはじめたものです。
小学校中学年	くろねこのどん	岡野 かおる子 // 作	えみちゃんが留守番している時、遊びに来るくろねこのどん。来たい時に来る、自由なねこと女の子の関係を描いた連作童話。
	空にむかってともだち宣言	茂木 ちあき // 作	あいりの家の隣に、ミャンマーから一家五人が引っ越してきた。その家の女の子・ナーミンとあいりはすぐに仲良くなるが、給食のときにちょっとした事件が起きて…。
	耳の聞こえないメジャー リーガー ウィリアム・ホイ	ナンシー チャーニン // 文 ジェズ ツヤ // 絵	審判のジェスチャーやチーム内のサインを考案した、聴覚障がいをもつメジャーリーガー、ウィリアム・ホイの伝記。少年時代からメジャーリーグで活躍するまでを描く。
	干したから…	森枝 卓士 // 写真・文	私たちのまわりには、干した食べものがたくさん。でも、どうして干すのでしょうか？ 干すことで、何がかわるのでしょう？ ふしぎなふしぎな「干したもの」のおはなし。
小学校高学年	チキン！	いとう みく // 作	トラブルをできるだけ避けてきたぼく。転校生の真中凛さんは気が強く、言いたいことをはっきり言うタイプで、クラスで浮いてしまっている。関わりたくはないんだけど…。
	ぼくたちのリアル	戸森 しるこ // 作	そいつの名前は、璃在(リアル)。ぼくたちの学年でリアルを知らないやつはいない。学年一の人気者、リアル。それはあいつにふさわしい、かっこよくて勢いのある名前だった。
	霧のなかの白い犬	アン・ブース // 作	真っ白いシェパードの子犬<スノーウィ>がやってきて、ジェシーは大喜び！ けれど、子犬を飼った理由には、謎につつまれた祖母の過去が関係していて…。
	転んでも、大丈夫	臼井 二美男 // 作	足を失い、心に傷を負った人々を、心身ともに支え続けている著者。患者のどんな願いにも真摯に向きあってきた著者が、人のいのち・生活を支える仕事のやりがいを語る。
中学校	円周率の謎を追う	鳴海 風 // 作	すぐれた業績を残し、日本の数学を世界のレベルまで引き上げた数学者・関孝和。円に魅せられ、その謎を解こうとした江戸の天才数学者の生涯を描く。
	ホイッパーウィル川の伝説	キャシー・アッペルト // 作	もっと速く、もっともっと速く…！ なぜシルヴィは、あんなに速く走ろうとしたの？ 特別な絆で結ばれた二人の姉妹と子ギツネの魂が響きあうスピリチュアル・ファンタジー。
	月はぼくらの宇宙港	佐伯 和人 // 作	人類が太陽系へ進出する宇宙港として注目が高まる月。将来月探査プロジェクトの立案に参加している理学博士が、最新の月科学、人類と月の新しい関わり方を紹介。
高等学校	フラダン	古内 一絵 // 作	女子率100%のフラダンス愛好会“アーヌエヌエ・オハナ”に集められた4人の男子高校生。その目的は男女混合によるフラガールズ甲子園出場だった！
	ストロベリーライフ	荻原 浩 // 作	農家なんてかっこ悪い。と思っていたはずだった。イチゴ農家を継げと迫る母親。猛反対の妻。志半ばのデザイナーの仕事はどうする？ 恵介36歳、いま、人生の岐路に立つ！
	犬が来る病院	大塚 敦子 // 作	日本で初めて小児病棟にセラピー犬の訪問を受け入れた医療機関、聖路加国際病院。医師や看護師などのスタッフによる取り組みを4人の子どもの生死を通して描く。